

教材・教具から学ぶ当時の生活

社会科地理大地図・家庭科掛け図・漢字練習帳・生活目標など

学校では昔から、授業を楽しく分かりやすく進めるために、年表・図表や資料などの材料や道具(教材・教具)を活用していました。今も先生は、授業に自作や市販の教材・教具を取り入れ、常に工夫し授業の改善をしています。

昭和36年の福井県大地図には、殿下村、志比村、美山村、西谷村、川西町、森田町、足羽町などの旧町名が見られ、学校では多くの分校も見ることが出来ます。また、公共交通機関では福井鉄道南越線、鯖浦線、京

ま
な
び
や

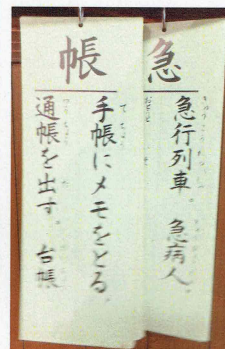
福電鉄大野線、永平寺線、丸岡線も残っています。



昭和36年 福井県大地図(7市21町13村)



展示室D なつかしの学び舎



▼黒板下には漢字練習帳

昭和30年代の教室を再現した「展示室D」には、黒板の周りに当時の生活目標、漢字練習帳などが掲示されています。

【展示室・D】
なつかしの学び舎

▼黒板横には生活目標



家庭科の掛け図には、茶の間(食事や家族の団らんに使われる畳敷きの部屋)での作法についてや、冬の温かい暮らし方について、いろいろ、火ばち、石炭ストーブの活用について記載されています。

【日常の食事作法】



【温かい暮らし方】



社会科の掛け図では、トラホームなどの流行もあり公衆衛生への意識向上や、日本人の死因の変化などが記載されています。当時の順番は①脳

出血②下痢腸炎③がん④老すい⑤結核⑥肺炎でした。

【暮らしの移り変わり】



また、教室には当時の学校生活用品もあり、ブリキ製のちりとり、ばけつも展示。

▼教室の後ろには清掃用具



資料募集

当館では、資料として戦後から現在までの教科書、教材、教具など教育資料を収集しています。貴重な資料がありまいたら、お知らせください。



問合せ先
0776
58-2250